



鳥の博物館 第 80 回 企画展

「日本の海鳥—カンムリウミスズメと行く海の旅—」

期間 平成 30 年 1 月 27 日（土）～平成 30 年 6 月 24 日（日）

場所 鳥の博物館 2 階企画展示室

内容 日本の周りの海を旅するカンムリウミスズメと一緒に、海鳥たちに会う旅に出かけます。実際に海鳥を観察する方法や、我孫子市で記録のある海鳥についても紹介します。海洋に生息する海鳥をもっと身近に感じてもらい、私たちの生活と海鳥の関係についても考えていただければ幸いです。

【海鳥ってどんな鳥】

島国である日本の周りには、翼を広げると 2m を超えるアホウドリの仲間から、スズメほどの大きさのウミツバメの仲間まで、たくさんの海鳥が暮らしています。北極圏のツンドラや南極大陸など、地球のあちこちから渡ってくるものもいますし、日本の周りの海で子育てをしているものもいます。

【カンムリウミスズメと行く海の旅】

カンムリウミスズメは小型の海鳥で、東アジアに固有な種です。最近、渡りの追跡調査によって、カンムリウミスズメは日本周辺の海域を 1 年かけて移動していることが分かりました。普段陸地で生活している私たちは、日常生活では海鳥を見る機会はありませんが、カンムリウミスズメと一緒に旅をすれば、日本の海鳥たちをもっと知ることができるでしょう。

本企画展では、繁殖地で巣立ったカンムリウミスズメが成鳥になって生まれた島に帰ってくるまでの渡り経路に分布する海鳥を、標本と生態写真で紹介いたします。中でも、日本の海域を代表する種については、その分布や生態などを詳しく掘り下げて紹介いたします。

【海鳥が減っている？】

海鳥の中には絶滅の恐れがある種が多くいることから、保全上の問題についても広く紹介します。

入館料 一般 300 円、高校生・大学生 200 円、中学生以下・70 歳以上無料

【問い合わせ】

我孫子市教育委員会 鳥の博物館
担当 岩本

☎ 04-7185-2212

第80回企画展

日本の海鳥

カムリウミスズメと行く海の旅

2018

1.27 sat. ▶ 6.24 sun.



我孫子市鳥の博物館

【開館時間】午前9時30分～午後4時30分【休館日】毎週月曜日(祝日の場合、翌平日)【入館料】一般 300円
大学・高校生 200円 70歳以上、中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方(含付き添い1名)は無料 20名以上の
団体は入館料2割引【問い合わせ】千葉県我孫子市高野山234-3 ☎04-7185-2212

日本の海鳥

カムリウミスズメと行く海の旅



カムリウミスズメ

全長：約24cm チドリ目ウミスズメ科

島国である日本の周りには、翼を広げると2mを超えるアホウドリの仲間から、スズメほどの大きさのウミツバメの仲間まで、多様な鳥が暮らしています。北極圏のツンドラや南極大陸など、地球のあちこちから渡ってくるものや日本の周りの海で子育てをしているものもいます。

カムリウミスズメは、東アジアに固有な小型の海鳥です。卵から孵化してすぐに親に連れられて海に飛び出し、2年後に繁殖地に戻るまで、日本周辺をほぼ1周する旅をします。カムリウミスズメと一緒に旅をしながら、日本の周辺の海にやってくる海鳥たちに会いに行きましょう。鳥の博物館所蔵の海鳥の標本と生態写真で、日本に渡来する代表的な海鳥を紹介します。

海鳥ってどんな鳥？



1



2

海鳥にはどんな種類がいるの？どうやって暮らしているの？体の仕組みはどうなっているの？そんな疑問に答えながら、海鳥のプロフィールを紹介！

海鳥が減っている！？



3



4

世界中で、多くの海鳥の絶滅が心配されています。私たち人間の活動が、海鳥にどのような影響を与えるのか考えてみましょう。



カムリウミスズメの親鳥(左)とヒナ(右)



海上を泳ぐウミスズメの成鳥

写真1.日本の海鳥で最大のアホウドリ
写真2.日本の海鳥で最小のアシナガウミツバメ
写真3.体に重油が付着したウミネコ
写真4.釣り針を呑みこんで死んだオオomisuzunagidori



●鳥の博物館へのアクセス

【公共交通機関】

JR常磐線我孫子駅南口から市役所経由のバスで「市役所」下車、徒歩5分(土日・祝日は博物館行きバスあり)*無料駐車場50台あり

【問い合わせ】

千葉県我孫子市高野山234-3
電話04-7185-2212



企画展記念スタンプをおしてね!